

平成31年度 能勢町一般会計予算可決

環境教育常任委員会報告

委員長 長尾 義信

3月11日、12日、13日に本委員会に付託されました「平成31年度能勢町一般会計予算」のうち、環境創造部、教育委員会の予算内容を審議した結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は次のとおりです。

問能勢の郷の復興状況と今後の計画は。

答災害により被災を受けたが、治山ダムが着工されたことから、安全を確保した後、当初計画にもとづき指定管理に向けた取り組みを再開する。

問環境対策検討委員会の開催状況や検討事項は。

答定期的に年4回開催し、計画に定めるごみの減量化対策を検討している。中でも堆肥化事業については、小学校でも実践している。

問町道等の維持管理事業における原材料支給は。

答昨年度予算の倍額となる600万円の計上に至る根拠は、9月以降の災害対応として、公衆利用の実態にある私道についても支給対象に加えた。

問橋梁点検結果を踏まえた橋梁維持管理事業は。

答近視による打診点検でコンクリートの劣化を音で判断するなど点検の精度を高めたことや202橋を4段階で強度を区分し早期措置を順次整備補強する。

問B&G海洋センターとけやき資料館に係る指定管理の状況と評価は。

答両施設とも利用率は、順調に推移しており、良好と評価している。

問ICT教育環境整備事業は。

答平成31年度は、指導者用タブレット端末や授業支援の購入等。生徒用端末は、32年度以降になるものの31年度購入機材で授業に活用できる。

問アフタースクールⅡにおける学力向上支援授業は。

答年間72回開催予定。新たな取り組みとしては、参加者減少の課題として指摘のあった下校時については公用車で実施する。

問体力づくり推進事業は。

答体力低下の対策として、大阪経済大学と連携した授業や夏休みにおける水泳指導やスポーツテストの測定時にも同大学と連携し、充実を図る。



野間の大けやき